

(様式第2号)

## 病院薬剤師卒後研修プログラム概要版

病院名 古河総合病院

所在地 茨城県古河市鴻巣 1555 番地



### 1 プログラムの名称

古河総合病院 薬剤師卒後研修プログラム

### 2 プログラムの目的と特色

チーム医療と必要されるそれぞれの患者に対する判断力およびコミュニケーション能力醸成を通じ、臨床薬剤師として3～5年目までに習得可能な専門領域へのステップとする。その後も指導者の下、専門領域へ精通した臨床薬剤師を育成。

### 3 研修プログラム責任者の設置

プログラム責任者として、古河総合病院薬剤部部長の責任を持って遂行することとする。責任者は研修関連実務を企画、立案及び管理を通して指導薬剤師との連携を行い、研修プログラムの遂行状況の確認を行う。

### 4 就労環境

|                                            |                                                                                      |
|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 勤務病院の宿舎                                  | なし（住居手当支給あり）                                                                         |
| ② 薬剤師賠償保険                                  | あり（当グループの賠償責任保険へ加入）                                                                  |
| ③ 学会、研究会等への参加                              | 可（交通費及び参加費支給あり）                                                                      |
| ④ 指導薬剤師が取得している専門・認定薬剤師の資格                  | 日病薬病院薬学認定薬剤師（2名）、日本薬剤師研修センター認定実務実習薬剤師（1名） NST 専門療法士（1名）                              |
| ⑤ 当院薬剤師が取得している専門・認定薬剤師の資格<br>※当院で取得可能な資格含む | 日病薬病院薬学認定薬剤師（2名）日本薬剤師研修センター認定実務実習薬剤師（2名） 感染制御認定薬剤師（0名） 外来がん治療認定薬剤師（0名） NST 専門療法士（1名） |
| ⑥ 協力病院                                     | 羽生総合病院                                                                               |

### 5 指導体制

指導薬剤師（日病薬病院薬学認定薬剤師 勤務歴5年以上）が指導の上、研修者の研修到達度を評価。

## 5 プログラムの計画

|        |                                          |
|--------|------------------------------------------|
| 1 年目   | 基本的な調剤業務、D I、医薬品の供給・管理業務、医薬品情報管理等の業務を行う。 |
| 2 年目   | 病棟業務の必須となる無菌調剤、病棟業務を行う。各領域の医療チームへの参加     |
| 3～5 年目 | 日病薬病院薬学認定薬剤師の認定を取得する。                    |
| 5 年目以降 | 各領域の認定薬剤師の認定を取得への資格要件を取得                 |
|        | 専門領域取得後、各領域へのチーム活動への専任など                 |